

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課
生涯学習推進センター
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号
(愛知県東大手庁舎2階)
TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232
URL <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



【豊橋市生涯学習感謝祭「吉田城夏まつり」】

豊橋市教育委員会では平成8年より、豊橋市生涯学習感謝祭「吉田城夏まつり」を毎年8月の第一日曜日とその前日に実施しています。郷土の歴史と文化に触れながら生涯学習の楽しさを共有・PRする場として、市民参画による手造りの夜まつりを豊橋公園(吉田城址)・市役所庁舎等を会場に、2日間夕方から夜間にかけて行なうものです。

INDEX [目次]

特集 イベントピックアップ

講座・講習会情報

イベント情報

行ってきました!

ネットワーク機関の横顔

FROM 学びネットあいち

愛・地球博ニュース

ボランティア活動紹介

いんたびゅー

公民館活動紹介

ボランティアリーダー研修に参加して

渡辺 元子

本格的なボランティア研修は初めてなので、少し不安な気持ちで会場へ向かいました。部屋に入ると胸に愛称の書かれたネームプレートをつけてワークショップ(参加体験型研修)形式で始まりました。いきなりサインペンが魔法のマイクに変身し「前回のふりかえりインタビュー」が始まったことには、驚かされました。次は私かも?と緊張が走ります。「ボランティアが行きづまる時」の寸劇は、皆さんが役になりきり、とても短い時間で考えたとは思えないほど臨場感があり、参加者のスキルの素晴らしさに驚かされました。お話の中で特に印象深かったことは、「対立はどちらか一方でも解決しようと思わない限り、感情を伴って激化する」ということです。この時の解決方法にウインウイン型(どちらも勝つ)解決法を学びました。とてもためになり、さっそく家庭でも試してみようと思いました。最後に今回20時間という限られた時間の中話し合い、学びあった仲間ができたことに感謝し、私の“思いを活動につなげるボランティア”も細く長く続けていきたいと思います。



研修の様子



発表の様子

ボランティアリーダー研修のお問合せは「愛・地球博ボランティアセンター」まで
名古屋市中区丸の内 2-4-7 愛知県産業貿易館西館 2 階
TEL:052-218-7370 URL:<http://www.vol-expo2005.jp>

企画展「明日に備えて 史料に見る愛知の地震」

愛知県公文書館は、公文書を始め、県発行の刊行物や県の歴史を知る手掛かりとなる古文書などを収集・整理・保存するとともに、その活用を図り、学術及び文化の発展に役立てることを目的として設置された施設です。

10月1日から11月28日まで開催する企画展「明日に備えて 史料に見る愛知の地震」は、この地域に関わりのあった過去の震災を、公文書や古文書、絵図、写真や刊行物などで紹介するものです。当館所蔵資料のほか、他機関や個人で所蔵されている貴重な史料もお借りし、江戸時代から現代までの主な震災時の、被害状況と人々や行政の対応などを見ていただきます。

一方、将来の発生が予測されている東海地震については、昨年来、防災対策強化地域の見直し、「注意情報」の新設など国や自治体の防災計画に大きな変更がありました。これら防災に関する最新情報についても、パネルなどで紹介するコーナーを設けました。ぜひお出かけいただき、各家庭や職場で「どういう備えが必要か」考えるきっかけとしてください。入場は無料です。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土曜・日曜・国民の祝日



住所：名古屋市中区三の丸2-3-2
愛知県自治センター7階

TEL：052-954-6025

FAX：052-954-6902

E-mail：

kobunshokan@pref.aichi.lg.jp

ホームページ：

<http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/>

「学びネットあいち」ネットワーク機関の横顔

(財)愛知県労働協会 文化部



愛知県労働協会では、働く人々やまたその家族がゆとりある生活をおくっていただけるよう、講演会を始め、文化教室、レクリエーション行事や教養文化講習会といった文化事業を、また、労使関係者を対象とした労働法セミナーなどの労働教育事業を実施しています。

文化教室では昭和区鶴舞の「つるまいプラザ」(愛知県勤労会館)を始め県内9つの「アイプラザ」(勤労福祉会館)にて書道や絵画、面打ち(能・狂言面)等、各種教室を開催しております。そして1年間の学習成果を発表する作品展が各プラザごとに随時行なわれています。

教養文化講習会では、史跡散策、民踊太鼓そして親子パソコンゲーム作成などのバラエティーに富んだ短期講座を用意しております。

また、労働教育事業では、労働法など最近の労働事情や労働問題をテーマとして取上げています。

なお、随時受講生を募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。詳しくは、「学びネットあいち」または労働協会ホームページをご覧ください。

住所：名古屋市昭和区鶴舞1-2-32

TEL：052-733-6753

FAX：052-733-6554

E-mail:bunka@ailabor.or.jp

ホームページ：

<http://www.ailabor.or.jp>

「トライデントコンピュータスクールでパソコンを始めてみませんか！」

河合塾の運営するトライデントは、パソコン全般にわたって目的・レベルに応じた幅広い分野の講座を用意しています。IT & ビジネスパソコン、マルチメディア、CADの3分野があり、どの分野においても初心者からスキルアップを目指す経験者までレベル・目的に応じた講座をお選びいただけます。

パソコン初心者の方にお勧めなのが、MOUS講座。Word(文書作成) & Excel(表計算)などパソコンの基本となる2大ソフトを使いこなすことができ、合格保証つきで資格までお取りいただけるセットコースもございます。

お勧めコース

まずはここから始めよう！

「パソコン入門」全1回 2時間 3,000円

文書作成ができる！

「Word基礎」全7回 14時間 35,000円

表計算を使って、家計簿などを作成しよう！

「Excel基礎」全7回 14時間 35,000円

上記以外にも、様々なコースがございますので、詳しくはHP・E-mail・フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。

住所：名古屋市中村区名駅4-1-11

TEL：0120-758-262 FAX：052-583-1766

E-mail：infoc@tc.kawai-juku.ac.jp

ホームページ：http://www.tc.kawai-juku.ac.jp/school/computer/



「ネットワーク機関」とは生涯学習に関する情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体です。

随時募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

生涯学習講座受講生募集中



主婦の社会参加をテーマに2000年に誕生した『パソコンの家庭教師いるかネット』は、2001年の名古屋市IT講習でテキスト作成から市内南東部の講習担当をさせていただきました。現在も、多くの生涯学習センターにおいてパソコン講座を担当させていただいております。IT講習期間中にいろいろ、貴重なご意見をいただき少しでも実現するために今年(2003年)の2月に自主運営できる施設を開設し、4月よりIT講習会を開講いたしました。

現在開講中の講座は、やさしいパソコン入門、ゆっくりワード(基礎)、ゆっくりエクセル(基礎)、ステップアップワード、ステップアップエクセル、デジカメ入門、ホームページ作成、MOUS検定対策講座等です。その他、1~3名でのカフェ教師、家庭教師等、お客様のニーズに合わせて、随時レッスンを行っています。料金は、1講座当たり、2,500円~となっており、文化事業の公開講座も開講しております。日程等詳しくは、いるかネットまでお問い合わせください。

住所：名古屋市天白区八事山443

TEL：052-836-4499 FAX：052-836-4455

E-mail：ask@irka.net

ホームページ：http://www.irka.net

何かお手伝いできることありませんか？
(友の家から心を込めてお届けします。)

友の家は、身体・知的に重度の障害を併せ持つ人達のために、毎日通える活動スペースを作りたいという願いから、1988年にスタートしてこれまで歩み続けてきました。(今年は15周年のメモリアルイヤーです。)

現在では西区を中心に、3ヶ所の活動拠点を持ち(うち1ヶ所は8月よりデイサービス友の家に移行しました。)月～金曜日まで活動をしています。

友の家の毎日は、『障害を持つ本人が主人公』の『新しい出会い・発見のある』『地域へ参加する事』を大切なテーマにしていますので、施設を飛び出しどんどん外出する事が多いのです。

また、『本人の好きな事』を中心にとり組んでいるので、『ショッピング』『ドライブ』『調理実習』など活動は様々です。

同時に、本人の生活を支える活動として、『一緒に入浴』をしたり『一緒に宿泊』をしたり、本人の自立に向けた活動もしています。

重度の障害を持つ人にとっては、本人の家庭と施設との往復しかない限られた生活の中で、『出会う人の少なさ』から『生活体験の乏しさに継っている』と考えられています。

そこで、より多くの人との『出会いの機会』を創ること。また、友の家が障害を持つ人だけでなく、関って頂ける人達にとっても『新しい出会い・発見の場』になることを心から願っています。

最後に友の家のボランティア情報について書きたいと思います。

友の家では、障害を持つ人の日常支援(外出・食事・入浴等のお手伝い)・給食作り・バザーの売り子等ボランティア活動をしてくれる人にいつでも来てもらいたいと考えています。

また、『友の家ボランティア情報』が郵送かメールでいつでも手元に届くサービスも行っていますので、登録をしたい方は是非ご連絡下さい。(はじめて行く所で心配だという方には、一度見学に来てから決めてもらう事をお勧めしています。)

友の家にとって大きな節目の年に、『ゆっくり・のんびり・楽しく』そんな雰囲気の中で、ボランティア活動をしたいという方、『私達と一緒に一歩一歩踏みしめながら歩いていきましょう。』よろしくお願ひします。

(友の家ホームページも是非ご覧下さい。)



友 の 家

代表者 : 戸水 純江
活動場所 : 名古屋市西区あし原町29
及びその周辺
連絡先 : TEL/FAX 052-504-4474
Eメール tomonoie@livedoor.com
URL
<http://tomonoie.infoseek.livedoor.com/>

えんがわはみんなの家です

「瑞穂デイセンター えんがわ」は、7年前、代表がうつ病の義母の介護のために、自宅を建替え、みんなで楽しく介護をしようとの思いから生まれました。天白区のデイケアを利用していた義母が、「遠くていやだ」「やらされるからいやだ」と行くのを嫌がるようになったからです。その当時瑞穂区には、介護の施設がひとつもなかったので、「瑞穂にデイセンターを！」と活動を始めました。

オープンして6年、えんがわは地域のオアシスのような存在になってきました。

毎週木曜日は、「宅老所えんがわ」を開いています。家に閉じこもりがちなお年寄りや地域で何かをしたいボランティアが集まって、楽しい1日を過ごしています。介護保険には関係なく、誰でも利用者、ボランティアになれます。高齢のボランティアも多く、生き生きと活動されています。赤ちゃん連れのお母さんもいます。赤ちゃんも立派なボランティアで、男性の利用者も笑顔が多くなりました。送迎も食事づくりもボランティアで、みんなで一緒に食べる食事がまた格別です。特にプログラムもなく、朝からお茶を飲みながら1週間分のおしゃべりです。近くの保育園児が月に一度遊びに来てくれます。おもちゃで一緒に遊んだり、歌の交換をしたり、ふだんとは違った楽しいひと時を過ごしています。帰りぎわに小さなプレゼントを握手をしながら渡しています。皆すてきな笑顔です。

時々、散歩やカラオケをしたり、喫茶店やレストランに行ったりもします。お花見や日帰り旅行も楽しみの一つです。

1年半後に義母が亡くなり休会しましたが、半年後に再開し、運営資金を作るための工房えんがわを作りました。公的な助成金がないためです。工房えんがわでは、年2回バザーを開くため、様々な手作り品を作っています。ご寄付の布地や着物、毛糸などを使って、ポーチや袋物、布のぞうり、アクリルたわしなど、おしゃべりしながら作っています。



えんがわの活動の一環として、書道教室、おもちゃ図書館にこちゃんも開いています。

他に、部屋貸し事業の中で、パソコン教室、麻雀同好会、囲碁同好会、いけばな教室、着物を着て出かける会なども始め、利用者、家族、ボランティア、地域の方々の楽しい出合いや学びの場になっています。

現在、宅老所利用登録者10名、ボランティア登録41名。会報を年4回発行して、賛助会員、会報会員を募っています。毎年ボランティア養成講座を開き、ボランティアの資質向上や仲間作りをしています。



瑞穂デイセンター えんがわ

代表者 : 吉川 富士子
活動場所 : 名古屋市瑞穂区片坂町2 - 50
連絡先 : 吉川 富士子
TEL/FAX 052-837-3344 (水・木)
TEL/FAX 052-831-1666 (他日・夜間)

目に見える支援を

キャンヘルプタイランドはタイ東北部の貧しい地域の子供たちへの教育環境を改善しようと援助を続けている民間のボランティア団体です。1990年に発足、現在は東北部を中心に15県の教育機関に対して奨学金の給付、学校給食自給自足化への支援、姉妹校提携の推進、タイ人英語教師への語学指導、学校諸施設の改善、図書の寄贈といった支援活動を続けています。

支援プログラムの一つとして奨学金プログラムがあります。東北部の子どもたちの中には経済的に学校に進学することが困難な子が依然としています。そのような子どもたちが進学することでより視野の広い夢を持ち、明るい将来のために努力できるように、金銭的な助けとして奨学金を支給するプログラムです。毎年現地で授与式を行い、当団体のスタッフから直接奨学生に手渡されています。現在は500人以上の奨学生がおり、支援してくださる方と奨学生は1対1で組み合わせられ、手紙や写真の交換などの交流が盛んに行われています。これまでに6,000人ほどの子供たちが進学できました。

また、建設プログラムは東北地域の小中学校の劣悪な教育環境に必要な施設・設備を整備することによって改善するために行われています。具体的には教室不足の学校の教室増設、雨季に通学不可能となる生徒のための学寮、図書室の整備などです。また、この建設作業を手伝うためのワークキャンプを毎年7月から8月にかけて実施しています。一般公募したボランティアが直接現地に行き、現地の人々との共同作業で行われます。毎年3月にボランティアを募集し、学生から退職者まで幅広い年齢層の方が参加しています。ただ建設作業を手伝うというのではなく、現地の人々と直接にふれあい、直に現地を感じる「交流」も目的の一つです。こうした活動でおよそ40の学校で校舎を建設し、200以上の教室を整備できました。



2001年9月 タイ スリン県 WCにて
子供達と建設校舎前で日本のメンバーと共に

当団体は、奨学金の授与式やワークキャンプ等、直接現地へ赴き活動するといった「目に見える支援」を心がけています。それによってタイの教育環境を直に感じ、日本にいる多くの方に伝えられると考えています。また、現地との連携も益々充実し、現地の状況に最適な支援ができるように常に模索しています。

明るい未来に向かう子どもたちに大切な教育の機会がもてるように、続けていくと共に、多くの方のご理解を得られることを願っております。



2002年8月 タイ サケオ県 WCにて
バンライサムシ - 学校の子供達と
日本人ボランティアスタッフと子供達

C . A . N . H . E . L . P . T H A I L A N D
(キ ャ ン ヘ ル プ タ イ ラ ン ド)

会 長 : 西川 弘達
活動場所 : 名古屋市を中心に全国、現地タイ
連絡先 : 名古屋市中村区名駅南 1-20-11
NPO プラザなごや 2F 南
TEL/FAX 052-566-5131
Eメール canhelp@npo-jp.net
URL <http://www.canhelp.npo-jp.net>



平野 富美代

活動場所：一宮市青年の家、公民館
連絡先：一宮市教育委員会
生涯学習課
TEL 0586-73-9111
(内線 2733)

フレッシュママ交流会

現在、一宮市には、県の養成講座を修了し活躍しているネットワークが25名います。私たちは、行政の協力を得て「フレッシュママ交流会」を開いています。1歳未満の乳児と母親が対象で、毎月20組募集します。交流会は、友達作りの場として月2回開催し、手あそびや手作りおもちゃを紹介したり、保健師や栄養士の協力を得て、育児に関する情報提供もしています。

しかし、毎回多数の応募があり、参加できない人が出てしまいました。そこで今年度から「フレママひろば」の名称で月1回、時間内であれば出入り自由で誰でも参加できる場を作りました。母親からも「家の近くで参加したい」という希望があり、3ヶ所で開催しています。各会場とも担当のネットワークが中心となり、がんばっています。

これからも、子供たちの笑顔を糧にして、若い母親たちをサポートしていきたいと思っています。

ボランティア活動紹介 ~子育てネットワーク編~

地域の望ましい子育てを進めるため

子育ては、心(人間性)を育てることだと思います。それは、子ども達が社会と関わり合う中で自分なりの生き方を身につけるための基礎が家庭教育にあるからです。私はその充実を図るために、次の3点が重要だと考えます。子ども達が安心して遊べる場をつくる。親と子どもが共に遊び方を学んだり、情報を伝え合える機会をつくる。親と子の悩みに対応できる状況をつくる。これらのことは、行政の協力なしには達成できません。

7月に、子育てネットワークの研修会がありました。そこで行政の方にも参加をお願いし、私達の思いを伝えてきました。今年は、未就園児やその保護者を中心に、多くの人たちを対象にして、子育てについての学習会を進めていくつもりです。その充実に向け、私自身も多くの研修会に参加したり、他地域の活動を見学するとともに、行政や地域の方々と連絡を取り合いながら、鳳来町で出来ることを進めていきたいと考えています。



福田 利恵

活動場所：保健センター、支援センター
トレーニングセンターなど
連絡先：鳳来町教育委員会 生涯学習課
TEL 0536-32-0515

「ボランティアというのは自分をね、
高めることが非常に多くあるのですよ。」



生涯学習インストラクター ^{もり} 森 ^{かつあき} 勝昭 さん

生涯学習の分野において自宅地域・公民館・図書館・博物館・青少年教育施設・スポーツ施設などでボランティア活動をしたり、企画立案・助言・指導などをする生涯学習インストラクター。森勝昭さんは1級生涯学習インストラクターだ。

生涯学習インストラクターの資格をとるきっかけは？「定年間近になって、自分自身を高めて、地域に還元できるようなことができたらと思っていました。」たまたま、住んでいる小牧市の広報誌に生涯学習指導者ボランティア養成講座の受講生の募集を発見する。早速応募し、講座を修了、2級の資格を取得する。さらに「1級があるなら」ということで1級の資格を取得。とても積極的だ。また、森さんは講座修了者で結成される「生涯学習ボランティア・こまき」という会の一員で、この会でパソコン教室や市の催しの手伝いなど、生涯学習に関するいろいろな活動をしてきた。「過去2年間、副代表をやらせてもらって、結構充実してたんです。」

ボランティア活動についてどう思いますか？「女性パワーに完璧に圧倒されて（笑）。」ボランティア全体が女性主流である。また、学校教育とボランティアについて「学校の先生1人1人もそれぞれの自宅に帰れば、一市民であり、一地域の住民であって、一住民としては地域のみならずボランティアやったらいいんですよ。そのことで得た経験がまた教室に戻って子供達に話すと、体験したことですから本当に生き生きと子供に伝わっていくと思うんですよ。だから先生方がまず地域でボランティアを体験なさってはどうですか。」学校週5日制での総合学習や学校評議員制度などの「地域の人達が学校へ入っていくこと」だけではなく、ボランティア活動などで「教師が地域へ出て行くこと」の重要性を語る。「ボランティアというのは自分をね、高めることが非常に多くあるのですよ。」

森さんのボランティアについての信条は？「いくらボランティアだからといって、めっちゃめっちゃやってはいかんで、与えられた仕事は与えられたように責任を持ってやらないとそれはボランティアの意味が無くなるんですよ。これはボランティアの「いろは」なんですけど、ボランティアだから今日は行きません、明日は行きますなんて言ってたんじゃ計画がちませんもんね、それはいかんと思うんです。」

今後は何をされますか？「(老後を)たそがれにしたくない。せめて夕映えにしないよね。」太陽が沈むときにわっと明るくなる、そんな人生を生きたいと森さんは考えている。「県の1級インストラクターの会の運営委員になって県内のことを考えながら全国ネットワークを作っていきたい。」まだ組織されたばかりの1級インストラクターの会のNPO法人化などを進めていくそう。他にも日本漢字能力検定1級の満点合格を目指したり、地域のボランティア活動、「特に今小牧市の図書館のサポーターとしての活動を構築することが急務だと考えている。21世紀のこれからの図書館は地域住民と一体となって、生涯学習社会の拠点として子供から高齢者まであらゆる人々を対象としたサービスの向上が必要だと思うので、ボランティアとして何がどのように出来るかを模索していきたい。」と図書館の棚卸作業にも参加したりと忙しい森さんだ。「退職する1年ぐらい前になって急に『これから平均寿命までの間何をやる』じゃなくて、平素から考えて計画を持ってやるといいと思います。」

特色ある公民館活動の紹介

～ 豊田市 ～

美里交流館

「オープンな子育て講座」
美里交流館は、豊田市の住宅街にあります。高齢化が進む中、若いお母さんたちの子育てを応援しようと、講座「子育てサロン」が始まったのは7年前。月に1回、事前予約や人数制限なしの、参加したい時に参加できる「行き場」としての講座を始めたのでした。当時は定員制で事前申し込みが必要な講座が主流でしたので、オープンな講座の先駆けでした。



3年前からは、0,1歳児対象の「子育てプチサロン」と2本立てにして、子育て情報誌「おしゃべりサロン」の発行も隔月刊で始めました。活動内容は、小麦粉粘土、ボール遊び、どろんこ遊び、ダンボール遊びなど、自然に親しむこと、五感で感じることを大切に考えたプログラムを組んでいます。家庭ではなかなかできないダイナミックなことができると、受講生のお母さん達に好評です。

ボランティアスタッフの活動も特徴の一つで、子育て中のお母さんからお孫さんのいる世代まで幅広い世代のメンバー十数名の登録があり、スタッフ会で、講師と共に企画について話し合い、事前の教材準備、おやつ作り、当日の受付、託児、進行、読み聞かせなどを分担して活動を進め、地域の子育てを支えています。



松平交流館

障害者と共に
「ふれあいフェスタ」
徳川家ゆかりの歴史のある町、山河に囲まれた自然豊かな地域にある松平交流館。古き時代を大切にしたい人情味あふれる松平の地域性は、交流館事業にも生かされています。

地域に住む障害のある人達との共生をテーマに、13年度より「ふれあいフェスタ」事業に取り組み始め、地域福祉や身障者の介助に関する学習会を継続して行なってきました。



14年度は、障害児と地域ボランティアの宿泊交流会やコミュニティ役員・民生委員・障害者・ふれあい会食ボランティアによる意見交換会や立食パーティなど、交流館事業だけではなく、コミュニティ活動等の様々な事業を通して地域の中で障害者との交流を深めてきました。ふれあうたびに障害者の笑顔が増えてきています。

今年度は“できることは自分たちで”をモットーに「そうめん流しでデイキャンプ」と「新春コンサート」に向けて、障害者自らが企画運営に関わる準備を進めています。

緑いっぱいの松平で冷たいそうめんと温かい心が一つとなつてほのぼのとしたふれあいのひとときがもてることを願って...



高橋交流館

「輪・和まつり」
開かれた学校を目指した教育を推し進めている高橋中学校と、子どもたちの健全な成長を願う地域住民の想いが重なり、14年度より豊田市では初めて高橋交流館のフェスティバルと中学校の文化祭が合同開催の運びとなりました。これを記念して名前を公募し、多数応募の中から「和やかな交流の輪がひろがるように」と「輪・和まつり」となりました。会場は体育館、武道場、理科室、子ども図書館など、中学校と交流館が連携しました。交流館ではおもしろ理科実験などの体験参加型を取り入れ、両会場を結ぶ通路は「夢のかけはし」と名付けて園児の絵を飾りました。



この祭りは、企画・当日の運営はもとより、事前の看板づくりやパンフレット作成など中学生の柔軟な発想を取り入れ、意見交換できる参加型となっています。中学校は学習の場で地域は活動発表とふれあいの場という姿勢を崩すことなく、同時開催するメリットを最大に生かし、地域のふれあいを深める新鮮さが、豊田市では他に例を見ない画期的な試みとなっています。

興味のある方は10月26日開催の「輪・和まつり」にご一緒に参加してみませんか。



愛地球博 ニュース

グリーンマップ作りに 参加しませんか



『知多半島グリーンマップ・フィールドワークの様子』
(2003/4/26)

セミの抜殻を見つけて「昆虫」を意味する
アイコンカードを手に記念撮影

グリーンマップは地域の皆様が身近にある環境によいもの、よくないものを自ら調べ、世界共通のアイコン(絵文字)を使って地図に表す環境マップです。

グリーンマップ作りはさまざまな方法で誰もが参加できます。地域の環境を見つめ直すのに優れた道具であるため、県内各地で活動の輪が広がりつつあります。

このような県民の方々の活動の成果を、世界初の試みとなる全県版(広域)グリーンマップにして、瀬戸会場愛知県パビリオンに展示していきます。

マップ作りを通して、あなたも身近にある地域を再発見してみませんか？



問合せ先：「県民参加ワーキンググループ事務局」

電話 052-339-5715 / H P : <http://www.kenminsanka.org>

又は「愛知県国際博推進局参加出展課」電話 052-954-6632(直通)まで

FROM 学びネットあいち
FROM 学びネットあいち
FROM 学びネットあいち

あなたの作品を インターネットで発表しませんか

「学びネットあいち」では、あなたの作品を投稿できるページがあります。

- ・ 投稿はどなたでもできます。
- ・ 投稿方法は簡単です。

さあ、お気軽に発表してみませんか？

投稿手順

作品をデジタルカメラやスキャナで取り込む

「学びネットあいち」にアクセス

(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/trbtexp.asp>)

投稿様式にそって登録(ID・パスワードが必要です)

詳しくは生涯学習推進センター(TEL052-961-5333)までお問い合わせください。



生涯学習推進センターからのお知らせ



生涯学習イベントの日について

生涯学習に対する県民の意識向上を図るとともに、愛知県生涯学習推進センターの活動内容などを県民の皆様に紹介し、継続的な利用促進につなげる契機として「生涯学習イベントの日」を開催します。

期日：平成 15 年 11 月 22 日（土）

会場及び内容：

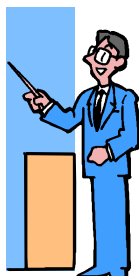
ウィルあいち 4階ウィルホール

- ・ 基調講演
- ・ シンポジウム

東大手庁舎 2階愛知県生涯学習推進センター

- ・ 学習成果の発表・展示等

詳細については、後日
生涯学習推進センターホームページ等
でお知らせしますのでご覧ください。
(ホームページアドレス下記参照)



生涯学習推進センター の 施設紹介

～メディア実習室～

最新のパソコンを10台（講師用デスクトップパソコン1台、受講者用ノートパソコン9台）配備し、ワープロソフトや表計算ソフトはもちろん、プレゼンテーションソフトやホームページ作成支援ソフト、画像処理ソフトもインストールしており、様々な研修に対応しています。



この部屋は、生涯学習推進センターの「学習サークル」として登録すると、使用することができます。

「学習サークル」の登録、メディア実習室の使用などについては、生涯学習推進センターまでお問い合わせください。

愛知県生涯学習推進センター

開館時間 9:00～21:00

休館日 日曜・年末年始

電話 052-961-5333

FAX 052-961-0232

Eメール syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

交通のご案内

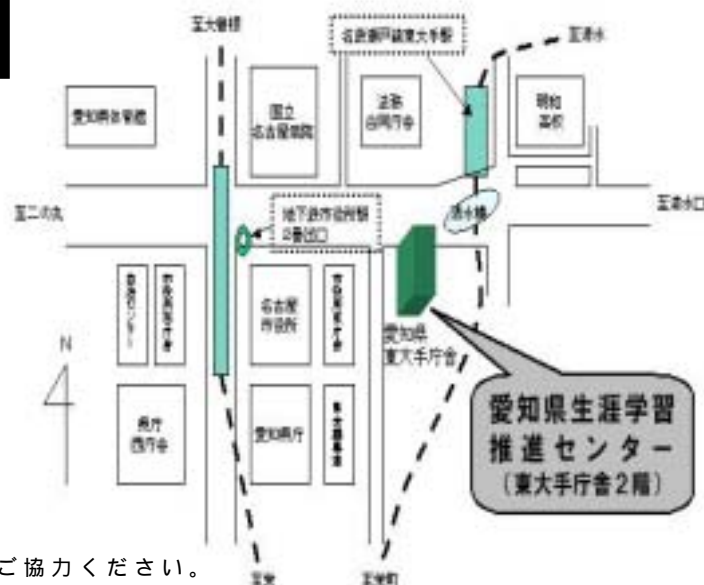
地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分

名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分

基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分

駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



愛知のまち ～東浦町～



《東浦町は徳川家康の生母「於大の方」の生まれた地》

歴史散策路「於大のみち」は、「生立ち広場」から乾坤院（於大の生家、水野家の菩提寺）まで、明德寺川の両岸約2キロのコースです。沿道には約4百本の八重桜が植えられ、また於大の方が着用した夜着をモチーフにしたモニュメントが3ヶ所に設置してあります。左岸には於大の方物語、右岸には東浦町の歴史を記した陶板64枚が敷かれています。

毎年4月の第3土曜日（八重桜の咲くころ）を於大まつりとし、そのまつりで開催される「於大行列」は恒例行事になっています。

於大公園（乾坤院の東）も整備され、各種イベントを行ったり、バーベキュー広場では、家族連れのみなさんが楽しんでいます。

於大公園では散策が自由にでき、中央の池には、6～7月にかけて、「オニバス」が咲きます。写真愛好家の方は、日が昇らない暗い時に出かけ、咲く瞬間のシャッターチャンスを撮りに出かけてみてはいかがでしょうか。



いきいきあいっ子キャンペーン
イメージマーク

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター

平成15年10月 10,000部発行

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 電話 052-961-5333